

「那須雪崩事故を教訓とした学校安全のための取組」に基づく
各種事業等の実施状況について（抜粋版）

R8. 2. 5 学校安全課

1 令和7年度（令和7年12月まで）までの実施状況について

- ・ 高校生の登山活動は近年横ばいで推移している。
- ・ 部活動指導員の活用については、令和5年度から登山の有資格者を部活動指導員として配置し、教員と連携しながら日常の活動や登山活動に従事しており、近年は年間10件の登山活動に従事している。

2 主な事業の実施状況（登山活動関係）

事業	目的等	実施状況		
		令和5年度	令和6年度	令和7年度 (R7.12月まで)
No.14 登山計画 審査会の機能強化	引率者等に安全対策を徹底させ、安全な登山の実施を図る	4校26件の審査を実施	4校28件の審査を実施	5校25件の審査を実施
No.17 登山部新任顧問等研修会	登山経験の浅い新任顧問等の資質の向上を図る	「行動中のPDCAサイクル」等のテーマで研修会を実施（7名参加）	「アクティブラーニングを生かした登山の安全教育」等のテーマで研修会を実施（7名参加）	「安全登山のための歩行技術について」等のテーマで研修会を実施（5名参加）
No.21 高等学校等登山指導者夏山研修会	夏山登山に関する引率者としての能力向上を図る	国立登山研修所へ1名派遣	長野県山岳総合センターへ1名派遣	愛知県民の森へ1名派遣
No.27 衛星携帯電話のレンタル	携帯電話の不感エリアにおいて緊急連絡手段を確保する	13件の登山で活用	16件の登山で活用	20件の登山で活用
No.31 部活動指導員の活用	専門的な知識を有する指導者を顧問として配置し、安全の向上、教員の負担軽減を図る。	2校にそれぞれ1名ずつ部活動指導員を配置し、計10件の登山活動の引率に従事	2校にそれぞれ1名ずつ部活動指導員を配置し、計10件の登山活動の引率に従事	2校にそれぞれ1名ずつ部活動指導員を配置し、計10件の登山活動の引率に従事